

MÖRK BORG

誓い

クズのようなお前達だがその程度に見合った誓いを立てることができる。
誓いはお前達に次のような恩恵をもたらす。



1. 献身の誓い



近くにいるクリーチャー1体の代わりに攻撃を受ける。

制限

奉仕の概念がないスラム生まれのクズはこの誓いを立てることができない。

2. 共闘の誓い



同じイニシアチブの味方1人が攻撃判定を行う時、合わせて攻撃判定を行う。両者が攻撃判定に成功した場合、ダメージダイスを合算する。いずれか片方だけが成功した場合は1人が通常の攻撃判定に成功した場合と同じである。両方が失敗した場合は言うまでもないだろう。

制限

武器の扱いがなっていない秘境の隠者はこの誓いを立てることができない。

3. 怨敵の誓い



攻撃判定に失敗した次のラウンドに続けて同じクリーチャーを攻撃する場合、難易度はDR10になる。

制限

敵を敵すことを信条とする異教の司祭はこの誓いを立てることができない。

4. 影潜みの誓い



【敏捷】DR12の判定を行い、成功すると即座に姿を隠す。

制限

嫌でも人目を集める惨めなる貴人はこの誓いを立てることができない。

5. 獣識りの誓い



【存在】DR12の判定を行い、成功するとクリーチャー1体の特殊能力を知ることができる。また、自身がそのクリーチャーを攻撃する際、攻撃判定はDR10になる。

制限

頭が驕矜としたオカルトハーブマスターはこの誓いを立てることができない。

6. 血文字の誓い



パワーを発動する際、パワーを追加で1消費して【存在】判定に自動的に成功することができる。

制限

呪文を解さない牙を持つ脱走兵はこの誓いを立てることができない。

選べ。
生きるために、
何を捨てる？

